

第15回JDA九州ディベート大会結果（報告）

大会概要

主催：日本ディベート協会（JDA）九州支部

共催：九州大学大学院言語文化研究院

日時：2017年12月10日（日） 9:00～17:30

場所：九州大学伊都地区センターゾーン1号館1303室他（福岡市西区元岡744）

論題：「日本は難民認定の基準を大幅に緩和すべきである」（2017年JDA秋季大会論題）

大会形式：立論2回反駁2回のJDA形式を用い、予選3試合のうち、出場チームは肯定側、否定側、審査員（選手ジャッジ）を各1試合担当する。決勝審査員には専任のジャッジと予選参加チームが加わる。

出場チーム（申込順・全5チーム）

17角松ゼミ（神戸大学）

近畿kids（無所属）

そして八杉はいなくなった（修猷館高校）

八杉フレンズ（修猷館高校）

討論乱舞-2（文徳高校・出水中学校混成）

専任ジャッジ（順不同）

吉村隆文、蓮見二郎、角松生史、八田卓也、是澤克哉、田邊未来、飯島忠樹、白沢不二夫、加治健也

予選結果（1試合最大3票、180点）

以下の2チームが決勝に進みました。

1位 そして八杉はいなくなった（4.7票、227.3点）

2位 近畿kids（3.8票、251.8点）

決勝

決勝は近畿kidsが肯定、そして八杉はいなくなったが否定側で対戦しました。

決勝の専任ジャッジは8名。これに加えて、聴衆票を9票（専任ジャッジ+1）と設定しました。投票の結果、専任票6対2、聴衆票8.1対0.9（9対1を比例配分）、合計14.1票対2.9票で、肯定側の勝利となりました。

優勝 近畿kids（齋藤 美桜里, 田村 知裕）

準優勝 そして八杉はいなくなった（野村 祐介, 徳永 りおん, 兒島 史夏, 神蘭 真采）

最優秀ディベーター 田村 知裕（決勝戦専任ジャッジの合議により選出）

たくさんの方に支えられて、今年も無事に大会を終えることができました。

今大会、関東、関西で同日行われた大会と重なり、出場チームが例年より少なくなりました。また、専任ジャッジの不足が懸念されましたが、直前の呼びかけに応じて応援に駆けつけていただき、滞りなく大会を運営することができました。

皆様、ご協力、本当にありがとうございました。

今後ともよろしく願っています。

JDA九州支部

九州大学言語文化研究院

井上奈良彦